

リハビリ（生活に活かす介護技術）を  
通して分かったこと

芦別慈恵園 かざぐるま  
白井友枝

## はじめに

リハビリとは・・・

利用者のできることを見つける

↓  
生活の中で活かす為の活動

## リハビリを通しての関わり

- 1、スタッフの変化
- 2、K様の変化
- 3、これからの課題

## 事例：M・K様（男性・75歳）

- ・要介護 4
- ・既往 糖尿病  
脳血管性認知症  
パーキンソン病
- ・社長、マスターとして  
喫茶店を経営

## 施設入所に至るまで

- ・平成20年自宅の階段から転落
- ・左大腿骨頭部骨折
- ・車椅子の生活に



9月 芦別慈恵園に入所

## かざぐるまに入所

12月 サテライト型居住施設  
かざぐるまに入所



### かざぐるまに入所した理由

- ・ K様に馴染みの地域
- ・ お部屋は個室
- ・ 家庭的な雰囲気



### 1、スタッフの変化→最初は..

- ・ よく知らない
- ・ 関わり方がわからない



自分に合わせた声掛け  
スタッフそれぞれが  
バラバラのケア

### スタッフ看護師で話し合い

※どうしたら楽しんで  
生活して頂けるか

スタッフ ➡ 毎日関わる

K様 ➡ 姿勢、腕の上がり方が  
良くなってほしい

**リハビリで関わる！！**

### 作業療法士の先生の指導

『生活に活かす介護技術』



※リハビリを見て  
思ったこと

- ・ 歩けること
- ・ いきいきとした  
表情

### 作業療法士の先生から 学んだこと

**動き出しは本人（利用者）から**

(例)

【以前】

- ・ 声を掛けながらの動き
- ・ 起きるときはすべて介助

### 『動き出しは本人から』

【現在】

- ・ 声を掛けたら返事を待つ
- ・ 起きるときは自分でできる事は  
やって頂く



スタッフみんなの1番の変化

**待つ！！**ということ

## リハビリの様子



## リハビリで大切にしていること

- ・ K様に合わせた時間
- ・ 意欲を持って頂くための  
コミュニケーション
- ・ 成果を感じて頂く
- ・ その時の状態に合わせる

## 取り組みを通して学んだこと

- ・ 関わらなければ分からない
- ・ 自分一人では  
良いケアはできない
- ・ 毎日継続していくことが大切

## 2、K様の変化→最初は・・・

- ・ 環境に馴染めない
- ・ スタッフに自分の気持ちが  
言えない
- ・ 楽しみがない
- ・ 日中は寝ていて夜間眠れない



お部屋で転倒

## 気持ちの変化

スタッフの関わり方が変わり・・・

自分の気持ちを出すようになった

- ・ トイレに行く
  - ・ 食事に行く
  - ・ コーヒーを飲みに行く
- 車椅子に  
乗る  
CWを呼ぶ

→ 意欲的な生活

## 身体の変化

動き出しは本人から  
してもらうことを続ける



- ・ 転倒の事故が減った
- ・ できるという自信がついた

### 家族の思い

『家族カンファレンスにて』  
\*リハビリの動画を見て頂く  
息子様より  
「父さん、こんなに歩けるんだ。  
頑張っているんだ。感動しまし  
た。」

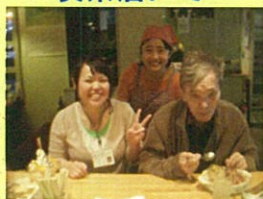
### 家族の思い

お嫁様より

「面会に行ったときは寝ているこ  
とが多いけどこんなに元気なと  
きもあるんですね。」

ご家族、K様の思いを  
家族と関わり、お聞きして  
K様の楽しみなことを行っていく

喫茶店にて



セイコーマートで  
お買い物

### 今後の課題

- ・できないと決めつけない
- ・利用者のペースに合わせる
- ・変化を見逃さない

利用者の動きを  
引き出せるように



楽しみを見つける！

ご静聴ありがとうございました